

北極域研究加速プロジェクト (ArCS II)

北極域研究加速に向けた研究計画の公募 2023 年度開始研究計画 募集要項

1. 趣旨

北極域研究加速プロジェクト (ArCS II) では、北極域に関する緊急性の高い課題や若手研究者による挑戦的・萌芽的な課題を中心に、プロジェクトゴールの達成に貢献する研究計画を以下のとおり公募します。

＜北極域研究加速プロジェクト (ArCS II) www.nipr.ac.jp/arcs2/>

文部科学省の補助事業として大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所、国立研究開発法人海洋研究開発機構および国立大学法人北海道大学の3機関が中心となって2020年6月～2025年3月の約5年弱にわたって実施する北極域研究プロジェクトです。

＜プロジェクトゴール＞

持続可能な社会の実現を目的として、北極域の環境変化の実態把握とプロセス解明、気象気候予測の高度化などの先進的な研究を推進することにより、北極の急激な環境変化が我が国を含む人間社会に与える影響を評価し、研究成果の社会実装を目指すとともに、北極における国際的なルール形成のための法政策的な対応の基礎となる科学的知見を国内外のステークホルダーに提供します。

＜4つの戦略目標＞

戦略目標①：先進的な観測システムを活用した北極環境変化の実態把握

戦略目標②：気象気候予測の高度化

戦略目標③：北極域における自然環境の変化が人間社会に与える影響の評価

戦略目標④：北極域の持続可能な利用のための研究成果の社会実装の試行・法政策的対応

※本公募は、ArCS II プロジェクト補助金の2022年度交付決定後、円滑に開始できるよう交付決定前に募集の手続きを行うものです。このため、研究計画の実施や予算の執行は2022年度交付決定が前提であり、今後、変更もあり得ることを予めご了承ください。

2. 募集する研究計画の概要

1) 戦略目標への貢献

研究計画は、1.に記載した4つの戦略目標の1つまたは複数に貢献し、プロジェクトゴールの達成に資するものとします。

2) 研究分野

北極域に関するすべての研究分野（自然科学系、人文科学系、社会科学系、工学系、医学系など）

3) 募集区分

研究計画は、以下の表1の区分ごとに募集します。

表 1. 募集区分

募集区分	概要	研究期間	研究経費	採択件数
緊急提案課題	北極域に関する国際動向に即した緊急性の高い課題を対象とする。 (先住民・地域コミュニティとの協働など) ※	2 年間	上限 500 万円/ 年度	1 件程度
挑戦的・萌芽的課題	若手研究者による挑戦的・萌芽的な課題を対象とする。	1 年間または 2 年間	上限 150 万円/ 年度	1 件程度

※今期の募集では、北極域の先住民・地域コミュニティとの協働に関連する研究計画を優先的に採択する。具体的には、北極域の先住民や地域コミュニティとの協働による共同研究や北極圏文化に関する日本国民の理解の増進などを目的とした研究計画を想定する。

4) 応募資格および研究組織

研究者の区分とそれぞれの条件、役割は表 2 のとおりです。

応募にあたっては、1 名の公募課題代表者と 1 名以上の公募課題分担者で研究グループを組織し、公募課題代表者が申請してください。

北極域の先住民・地域コミュニティ関係者が含まれる場合は申請書に明記してください。

表 2. 研究者区分

研究者区分	条件	役割	承諾書
公募課題代表者	【緊急提案課題】 ・日本国内の大学・研究機関等に所属する者であること ・大学院生等の学生でないこと 【挑戦的・萌芽的課題】 ・日本国内の大学・研究機関等に所属する者であること ・下記の若手研究者の定義に当てはまること	・研究計画の申請 ・研究グループの統括 ・研究成果のとりまとめおよび報告	必要
公募課題分担者	【緊急提案課題】 ・日本国内の大学・研究機関等に所属する者であること ・大学院生等の学生でないこと 【挑戦的・萌芽的課題】 ・日本国内の大学・研究機関等に所属する者であること ・2023 年 4 月 1 日時点で修士課程在籍以上の者であること	・公募課題代表者とともに研究を主体的に実施する	必要

	※若手以外の研究者を含む		
公募課題協力者	(特になし)	・ 研究の遂行にあたって協力をを行う	不要

<若手研究者の定義>

2023 年 4 月 1 日時点で、博士課程在籍の者、修士もしくは博士の学位取得後 10 年未満の者、または修士もしくは博士の学位取得後に取得した産前産後休業、育児休業の期間を除くと当該学位取得後 10 年未満となる者。

5) 応募・参加に関する制限

(1) 応募・参加件数にかかわる制限

- ・ 同一の研究者が公募課題代表者として応募できるのは、募集区分に関わらず 1 件とします。
- ・ 公募課題分担者、公募課題協力者として参加する場合には、件数の制限はありません。
- ・ すでに採択された研究課題・メンバーが類似した繰り返し申請は、認められません。

(2) ArCS II 参加者にかかわる制限

- ・ ArCS II の研究課題代表者は、本公募の公募課題代表者として応募はできません。公募課題分担者、公募課題協力者としての参加は可能です。
- ・ ArCS II の研究課題分担者・協力者は、本公募の公募課題代表者・分担者・協力者として参加は可能です。
- ・ ArCS II プロジェクト推進本部構成員は、本公募の公募課題代表者・分担者として参加はできません。協力者としての参加は可能です。

(3) ArCS II 重点課題①公募プログラムの重複応募にかかわる制限

- ・ ArCS II 重点課題①の各公募プログラム※¹の代表者※²は、研究期間や派遣期間が重複することは認められません（2022 年度以降に開始する計画の公募から適用）。
- ・ 研究計画公募課題に採択済みの代表者・分担者は、本公募の代表者・分担者としては応募できません。
- ・ 海外交流プログラム課題に採択済みの代表者は、本公募の代表者としては応募できません。
- ・ 詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

※¹ 各公募プログラム：

- ・ 海外交流研究力強化プログラム（「海外交流プログラム」）
- ・ 北極域研究加速に向けた研究計画の公募（「研究計画公募」）＝本公募
- ・ 若手人材海外派遣プログラム（「若手派遣プログラム」）

※² 代表者：

- ・ 「海外交流プログラム」の場合：国内コーディネーター
- ・ 「研究計画公募」の場合：公募課題代表者
- ・ 「若手派遣プログラム」の場合：派遣者本人

6) 成果発表

採択された研究計画の実施においては、ArCS II 期間中（～2025 年 3 月 31 日）に次に掲げる成果発表が求められます。

- ・ ArCS II プロジェクト全体会合およびそれに準じる研究集会等における発表
 - ・ 査読付き国際誌への論文または書籍等での発表
 - ・ 取得データの公開
- ※成果やデータの取り扱いについては「6. 成果等の取り扱いおよび報告」参照

7) 研究期間

【緊急提案課題】

2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（2023～2024 年度の 2 年間）

【挑戦的・萌芽的課題】

次の期間のいずれか

- ・ 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日（2023 年度 1 年間）
- ・ 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（2023～2024 年度の 2 年間）

<補足>

- ・ 研究期間が 2 年間の場合、1 年度目の報告書により評価を行い、その評価結果を踏まえて 2 年度目の計画の継続審査を行います。継続審査の結果によっては、中止、または 2 年度目の研究経費が当初応募時の申請額から減額される場合があります。

8) 研究経費

研究の遂行上直接的に必要な下記費目の経費として使用可能です。

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| ① 物品費 | 設備備品費、消耗品費 |
| ② 謝金 | 謝金 |
| ③ 旅費 | 旅費（国内、外国） |
| ④ その他 | 外注費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、光熱水料、その他（諸経費） |

<補足>

- ・ 経費の執行は、「北極域研究加速プロジェクト取扱要領 4.補助金の使用等」（※）に準じるほか、国立極地研究所の諸規則に基づき、国立極地研究所で行います。
- ※https://www.mext.go.jp/content/20200309-mxt_kaiyou-000004770_7.pdf
- ・ 本公募による研究計画の経費として人件費は支出できません。
- ・ 本補助金では、間接経費の計上は認められていません。
- ・ 経費執行に関する詳細は採択決定後、別途通知します。

3. 応募手続き

1) 応募書類

別紙様式 1. 申請書 A【緊急提案課題】または B【挑戦的・萌芽的課題】

別紙様式 2-1. 承諾書

別紙様式 2-2. 分担者承諾書

2) 応募締切

2022 年 11 月 11 日（金）正午 必着

3) 応募方法

応募書類一式を PDF ファイル化の上、下記宛 E メール添付により送付してください。

宛 先： ArCS II 事務局 研究計画公募担当

E メール： arcs2_ccrp@nipr.ac.jp

※メール受付後、事務局から受付確認のメールを送付します。11 月 11 日（金）17 時までに受付確認メールが届かない場合は、お手数ですが事務局宛にお問い合わせください。

※紙書類の郵送は不要です。

4) 備考（応募・参加件数にかかわる制限）

- ・同一の研究者が公募課題代表者として応募できるのは、募集区分に関わらず 1 件とします。
- ・公募課題分担者、公募課題協力者として参加する場合には、件数の制限はありません。

4. 審査および採択

1) 審査主体

ArCS II プロジェクトに設置する研究公募審査委員会が審査を行います。

2) 審査方法

別に定める審査要項（別添 1）に基づき、審査を行います。

＜審査の基本的な流れ＞

(1) 一次審査（書面）

提出された応募書類に基づき、書面審査を行います。

(2) ヒアリング（必要に応じて）

一次審査を通過した応募について、必要に応じて書面によるヒアリングを行います。

(3) 二次審査（合議）

一次審査結果およびヒアリングにより得られた回答に基づき、合議の上、最終的な採否を決定します。審査結果によっては、研究経費が申請額よりも減額される場合があります。

＜審査の観点＞

(1) 研究目的の妥当性

- ・研究計画の目的が、4 つの戦略目標の 1 つまたは複数に貢献し、プロジェクトゴールの達成に資するものとなっているか。
- ・【緊急提案課題のみ】北極域に関する最近の国際的な動向や喫緊の課題を正確に把握した上で、明確かつ具体的な目的となっているか。
- ・【挑戦的・萌芽的課題のみ】今後の北極域研究の発展や研究者自身の成長につながることを考慮した上で、独創性、新規性、挑戦性のある目的となっているか。

(2) 研究計画の妥当性

- ・研究組織が、目的を達成するために必要な研究者が配置されたものとなっているか。
- ・実施計画が、目的を達成するために十分に検討され、成果を期待できるものとなっているか。
- ・研究経費が、目的を達成するために必要かつ適正なものとなっているか。

(3) 「北極域の先住民・地域コミュニティとの協働」への関連性

- ・【緊急提案課題のみ】研究計画が北極域の先住民・地域コミュニティとの協働に関連しているか。

3) 採否通知

すべての応募について、申請書（別紙様式 1）に記載の公募課題代表者の E メールアドレス宛に、ArCS II 事務局より E メールにて採否を通知します。

5. 研究計画開始までのスケジュール

2022 年 9 月初旬	募集開始
2022 年 11 月 11 日（金）正午	応募締切
2022 年 11 月中旬	応募書類とりまとめ
2022 年 11 月下旬～12 月上旬	一次審査
2022 年 12 月中旬	書面によるヒアリング（必要な場合のみ）
2023 年 1 月上～中旬	二次審査
2023 年 1 月下旬	採否通知 ※以降は採択された研究計画のみに関係
2023 年 2 月上旬	申請書最終版（計画の変更が必要な場合のみ）、経費等内訳書提出
2023 年 2 月中旬	（参考）ArCS II プロジェクト全体に係る 2023 年度交付申請
2023 年 4 月 1 日（土）	研究計画開始 ※上記交付申請に対する交付決定による

6. 成果等の取り扱いおよび報告

1) 研究成果、データ等の取り扱い

採択された研究計画の実施によって得られた研究成果やデータ等に関しては、ArCS II プロジェクトが定めるルールに従って取り扱われます。

<概要>

● 研究成果発表・広報

『北極域研究加速プロジェクト（ArCS II）研究成果発表及び広報ガイドライン』（別添 2）に従っていただきます（以下、概要）。

- ・成果発表の際は、ArCS II プロジェクトの名称あるいはロゴを明記してください。
- ・論文等の Acknowledgement には ArCS II プロジェクトの名称と体系的番号（JPMXD1420318865）を明記してください。
- ・プレスリリースの際は、ArCS II プロジェクトの成果であることを明記するとともに、ArCS II 事務局にご連絡ください。

● データの取り扱い

『北極域研究加速プロジェクト（ArCS II）データポリシー』（別添 3）およびこれに基づく各種取扱要項に従っていただきます（以下、概要）。

- ・取得されたデータの価値を最大限に高めるために、すみやかなデータの公開に努めることが求められます。
- ・取得されたデータのうち知的財産と指定されないものは、科学的・教育的・産業的利用のため、北極域データアーカイブシステム (ADS <https://ads.nipr.ac.jp/>) が適切に管理・保管するとともに、国内外の研究機関、研究者およびステークホルダーに対して、円滑に提供します。

※各種要項類は ArCS II のウェブサイト (<https://www.nipr.ac.jp/arcs2/info/complementary-2023>) でも参照可能です。

2) 報告書の提出

公募課題代表者は、年度ごとに報告書の提出を求められます。詳細は採択決定後、別途通知します。

7. 研究倫理・コンプライアンス遵守と教育受講の確認

採択された研究計画の実施にあたっては、研究倫理・コンプライアンスの遵守が求められます。

なお、参加する公募課題代表者、公募課題分担者は、下記の教育を受講することが必要です。

- (1) 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」にて求められている研究活動における不正行為を未然に防止するための研究倫理教育
- (2) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」にて求められているコンプライアンス教育

研究計画が採択された後、公募課題代表者は、自身および研究組織に含まれる公募課題分担者が、上記2件の教育を受講し、内容を理解したことを確認したとする確認書を提出することが求められます。提出期限等の詳細は採択決定後、別途通知します。

8. 個人情報の取り扱い等

応募書類に含まれる個人情報については、厳重に管理し、法令等により提出を求められた場合を除き、下記の目的以外で利用することはありません。

- (1) 応募書類に基づく研究公募審査委員会による審査および採否通知
- (2) 研究計画が採択された場合、公募課題代表者の所属・職名・氏名の ArCS II ウェブサイトおよび広報誌等刊行物での公表

9. 問い合わせ先

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立極地研究所 国際北極環境研究センター

ArCS II 事務局 研究計画公募担当

〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3

E メール：arcs2_ccrp@nipr.ac.jp